

科目区分	専門分野			科目番号	0803	曜日時間	金曜日
授業科目	老年看護学援助論Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2年次通年	授業形態	講義・演習
担当教員	松崎 幸子						
授業目的	生活調整の必要な高齢者とその家族に対する看護を学ぶ。						
中核	医療を受ける高齢者の生活行動を整える援助						
授業目標	1. 医療を受ける高齢者の不安や困惑、生活困難に関心を寄せる。 2. 高齢者に特有な症候・疾患・障害をもたらす健康上の問題と生活困難を判断する。 3. 高齢者の健康上の問題に対する援助技術を理解する。 4. 高齢者と家族の意思決定時の支援がわかる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	I. 医療を受ける高齢者(外来通院から退院)への援助 1. 外来通院を余儀なくされる高齢者への援助 薬物療法とアドヒアランス (骨粗鬆症・パーキンソンニズム) 2. 入院が高齢者に及ぼす影響と援助 生活環境の変化と危険予測・行動制限 (大腿骨頸部骨折・せん妄・廃用症候群) 3. 手術・検査が高齢者に及ぼす影響と援助 術前検査と高齢者の合併症予防 【学内実習】 体位ドレナージ 4. リハビリテーションを受ける高齢者への援助 生活機能向上：リハビリ訓練と病棟での生活 (痛みとうつ症状) 5. 退院支援(地域連携)と高齢者を介護している家族への援助 要介護者と家族介護者・家族の介護力 6. 多様な生活の場における看護の役割 他職種との連携と協働 (認知症への取り組み：地域の実態) 7. 終末期の看護 ①高齢者の看取り ②看取りを終えた家族への看護 ③死の定義と徴候・喪失体験 ④リビングウィル ⑤高齢者と家族の意思決定支援 ⑥グリーフワーク 8. まとめ 評価	講義 グループ ワーク	16	松崎 幸子		
課題等	1. 全講義での実際の経験を通して、毎時ノートにリフレクションしていくこと。 2. 毎講義時には、「老年に関するニュース」を必ずひとつ見つけ、ポートフォリオに入れること。						
評価計画 方法	1. パフォーマンス課題・成果発表 40% 2. 筆記テスト 50% 3. 課題・演習参加態度 10%						
テキスト 参考図書	北川公子ほか:系統看護学講座 専門分野 老年看護学【電子版】，医学書院 鳥羽研二ほか:系統看護学講座 専門分野 老年看護病態・疾病論【電子版】，医学書院						
実務歴 有	看護師						
講義への 反映	病院における経験を活かし、入院における看護がイメージできる授業を展開する。						
備考	用意する物 1. 「老年看護援助論Ⅱ用」リフレクションノート 2. ポートフォリオ用のファイル1冊						